



# 触るグリフ 利用方法

サワルグリフ代表

言語聴覚士 宮崎 圭佑



# 触るグリフとは？



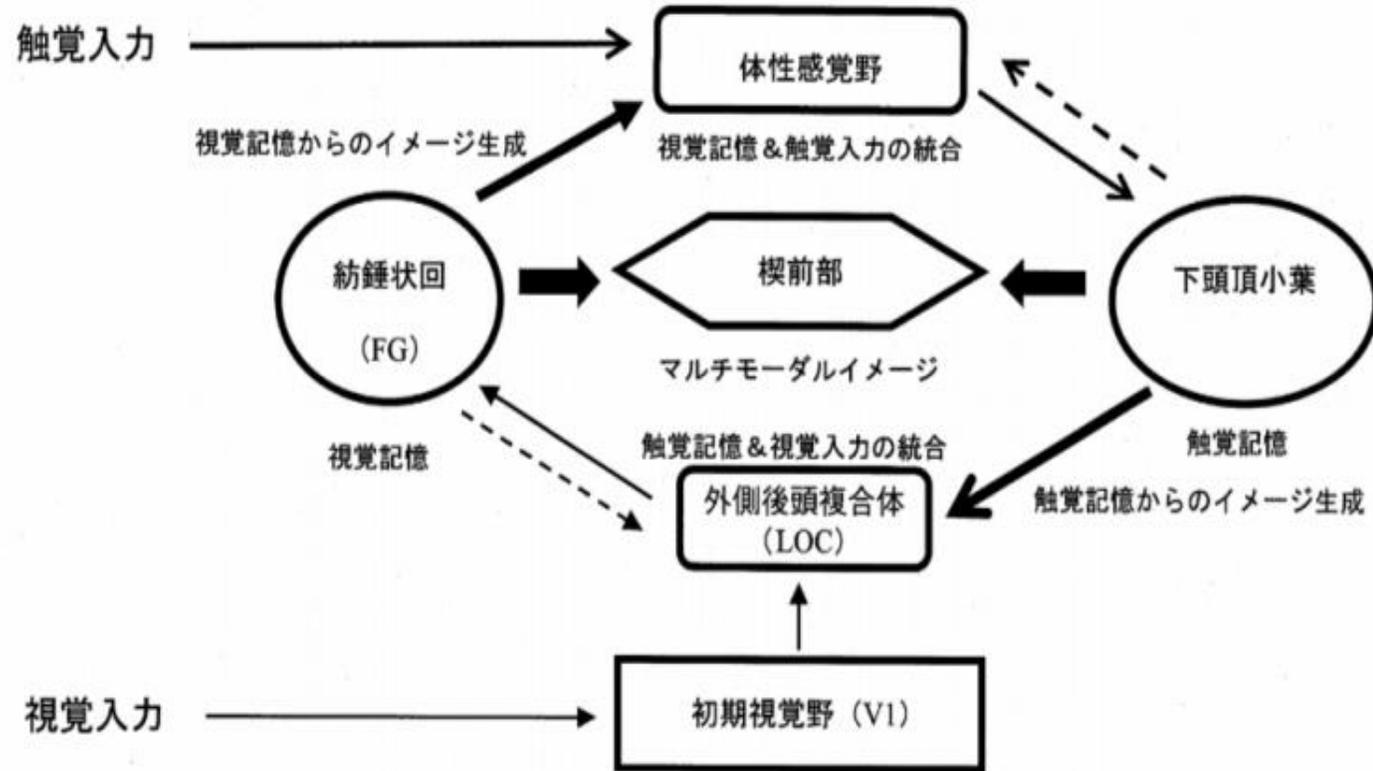
## 「見ながら触れる」触読学習により、文字形状、綴りの記憶を促す『触読学習プログラム』

文字のカタチから、綴りのパターンへと段階的かつ系統的に学ぶ。

触読学習で形成した文字や綴りの記憶イメージを利用することで、**読みや文字の想起の改善を目指す。**



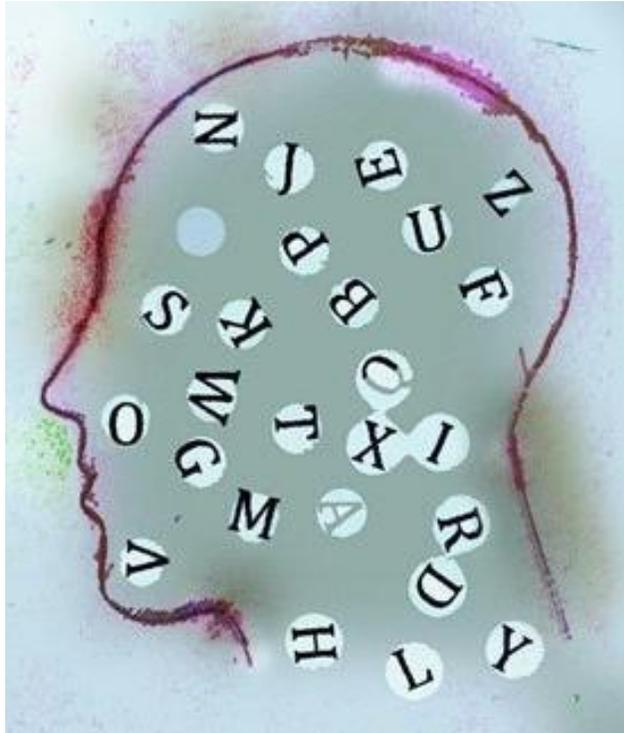
# 触るグリフの原理



Brain function mechanism of object recognition in 3D shape (Nishino, 2008)



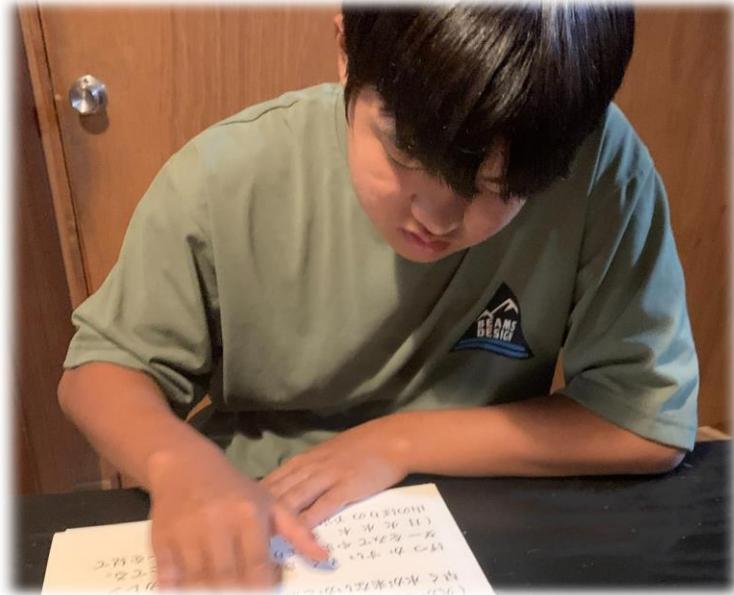
# 文字の「カタチ」と「綴り」の記憶イメージを形成する



- 仮名や基礎漢字の「カタチ」の記憶イメージが形成される。
- 単語としての「綴り」の記憶イメージが形成される。
- 思い出して書く時に、**文字の「カタチ」の記憶を想起に利用できる。**
- 視て読む時に、**「綴り」の記憶と照合することができる。**



# 触るグリフ 利用対象者 – 読み書きが苦手な方



## ■ 文章の読みが苦手

- 逐次読みが残る
- スラスラ読めない
- 読み間違いが多い
- 読むと疲れる

## ■ 文字が覚えられない

- カタカナや漢字が覚えられない
- 覚えてもすぐに忘れる

## ■ 文字の書字が苦手

- 文字を書くと崩れる



# 「カタチ」から「綴り」へ。段階的に学習を行う

基本的な仮名(平仮名, カタカナ)の【**カタチ**】を覚える



基本的な仮名单語の【**綴りパターン**】を覚える



短文の中で仮名と漢字の【**綴りパターン**】を覚える



基礎漢字の【**カタチと構造**】を1文字ずつ覚える



# 標準版シート（8週間）

## ①最初の2週間

仮名シートを  
「視ながら触れて」  
音読する

ま	は	な	た	さ	か	あ
み	ひ	に	ち	し	き	い
む	ふ	ぬ	ま	ハ	ナ	タ
め	へ	ね	ミ	ヒ	ニ	チ
も	ほ	の	ム	フ	ヌ	ツ
			メ	ヘ	ネ	テ
			モ	ホ	ノ	ト
						ソ
						コ
						オ

## ②次の2週間

横・縦短文シートを  
「視ながら触れて」  
音読する

あおいまるにさわってからあかいしかく  
くにさわってください。(青い丸にさわ  
ってから赤い四角にさわってください)  
くろいしかくのうえにあかいまるをお  
いてください(黒い四角の上に赤い丸を  
おいてください)

※1回の実施枚数が多い場合は、減らして調整してもかまいません。  
その場合、実施期間を少し延ばして実施回数確保してください。

## ④最後の2週間

仮名・短文・漢字シートを、1日おきに1  
セットずつ、順番に「視ながら触れて」音読  
する

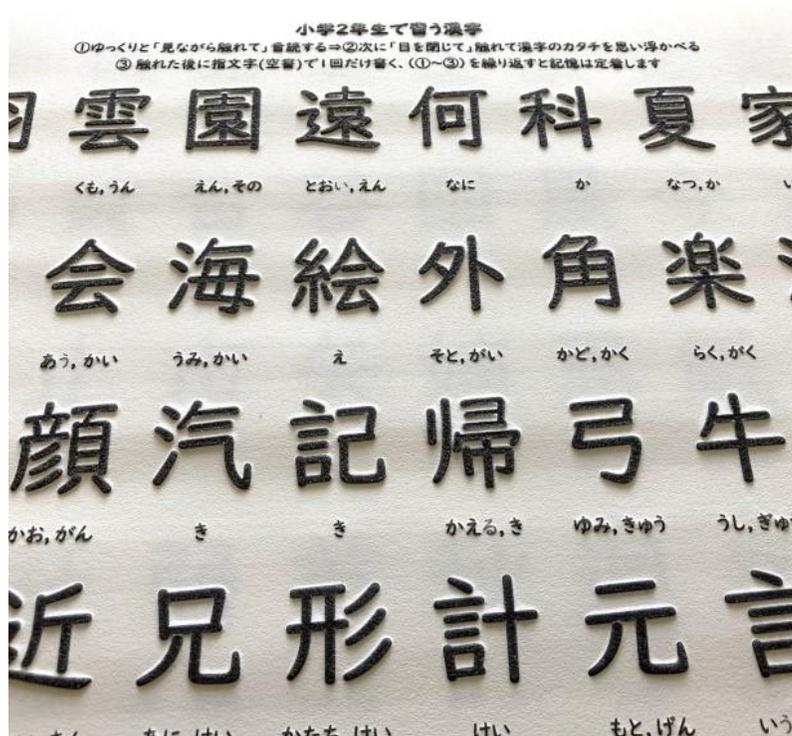
## ③次の2週間

漢字シートを1日1枚～2枚  
「視ながら触れて」  
音読する

一	右	雨	円	王	音	下	火
花	貝	学	気	九	休	玉	金
空	月	犬	見	五	口	校	左
三	山	子	四	糸	字	耳	七



# 漢字 1 文字シート of 学習方法



3日間で1枚～2枚のシートの漢字を記憶定着させる

- ①見ながら触れて音読する
  - ②目を閉じて頭の中で触れた文字のカタチを思い浮かべる
  - ③触れた文字を手で書いてみる
- ※既に書ける漢字も触読学習を行う  
※1回の実施枚数はシート1枚～2枚程度とする

1枚シート (36個の漢字の覚え方)	
実施前	小テスト (書けるか確かめる)、
1日目	視ながら触れて音読 + 1回だけ手で書く (指文字)
2日目	視ながら触れて音読 + 1回だけ手で書く (指文字)
3日目	視ながら触れて音読 + 1回だけ手で書く (紙に書く)
実施後 (4日目)	小テスト (定着したか確かめる)



文字の画線を指先でなぞるのではなく、文字を「指面」で触れて文字全体の形を確かめながら読む

## ■ 触読版シートの触れ方

文字の画線を指先でなぞるのではなく、文字を「指面」で触れて文字全体の形を**確かめながら読む**。

## ■ 触読版シートの読み方

「単語」は逐次読みではなく、**必ず「ひとまとめ」に音読する**。

(例：「ま、む、し」⇒「まむし」)

文字や綴りの形状を読み取り、自分のペースで音読していく。



# 触るグリフの実施で重要なこと

## ■ 最初から行う

様々な文字と綴りの形状パターンを記憶し、読み書きに利用できる記憶ネットワークを作ることが重要。8週間で終わるので一通り行ってほしい。

(ただし、モチベーションが湧かない場合は漢字からなど、途中から実施してもよい)

## ■ モチベーションの問題の解決策

児童のやる気を鼓舞するために、報酬(おやつ、商品)などで誘導してもよい。

触覚記憶ネットワークは動機づけの種類や方法に関係なく形成される。

(もちろん、本人の興味関心が高ければ理想的)



# 必ず「実施前」と「実施後」に読み書きの評価を行う



44歳 Dyslexia 男性音読 本人承諾済み撮影使用)

触るグリフ「実施前」と「実施後」(2週間毎)に、  
評価シートの文章音読や読み上げ書字を比較する。

- 音読の様子はスマホで「動画撮影」し、読み上げ書字の様子は「カメラ撮影」保存しておく。
- スムーズに読めるようになったか？  
書けなかった文字が書けるようになったか？  
…などを比較する。



# 定期評価（読み）

## ■ 平仮名・カタカナ・漢字の短文音読評価

音読時間の短縮、読み間違いの減少、逐次読み、などの変化を測る。

✓ **客観的評価**

逐次読み改善、読み間違い減少、文章を読む時間の変化

✓ **主観的評価**

易疲労性の改善、読みにくさの改善、文章への苦手意識の軽減

### 評価方法

訓練開始前(初回)から2週間ごとにビデオ撮影し、評価シート(読み)の音読の様子を記録する。  
2週間毎に音読状況を見比べ、客観的・主観的に変化を観察する。



# 定期評価（書字）

## ■ 仮名、単語、漢字の読み上げ⇒書き取り評価

実施前から2週間毎に、ひらがな、カタカナ、基礎漢字を「保護者」が読み上げ、書いてもらう。  
書字はスマホ(カメラ)で撮影し保存しておく。

### ✓ 触るグリフ「実施前」に…

子供が「書けそうにない文字・単語・漢字」を50～100個ほど（※）選び、読み上げる。  
文字や単語を子供に書いてもらう。

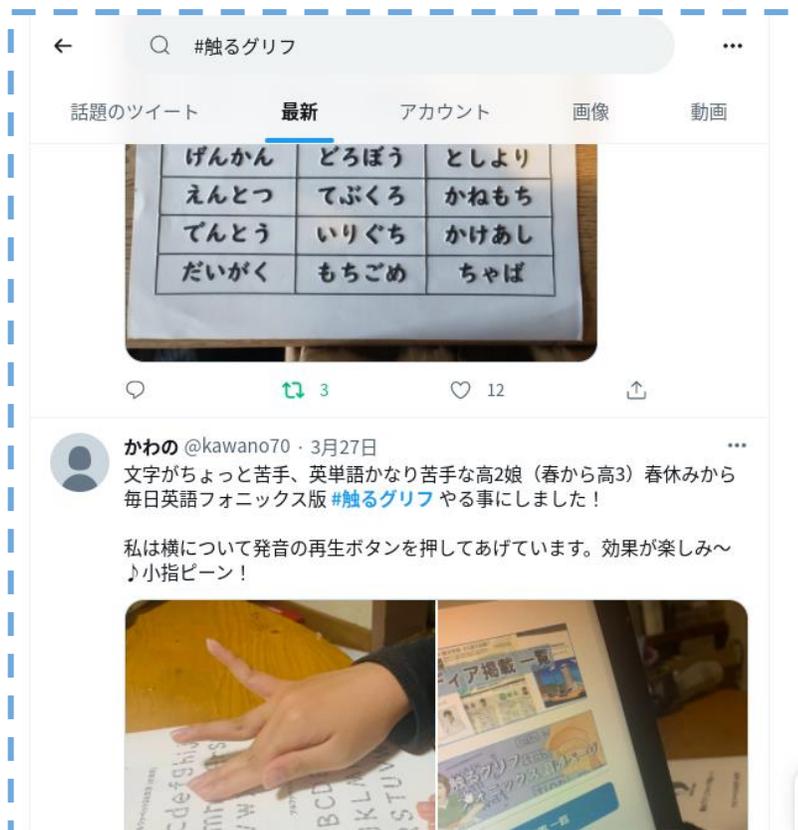
### ✓ 2週間毎に…

「触るグリフ」実施前に書けなかった仮名、単語、漢字が書けるようになったか？を確かめる。

※全ての文字・単語を書くのは負担になるため、「書けそうにない文字・単語・漢字」は50～100個ほど選んで実施すると良い。



# 効果が見られた場合



## <サウルグリフ代表 宮崎からのお願い>

触るグリフは、広告宣伝費を全く使用しておりません。

実際に使ってみて、効果があったり、取り組む様子など、SNSを介して口コミで広がっています。

もし、よろしければ「**#触るグリフ**」で使用状況や効果の報告をツイッター、インスタで上げてくれたら嬉しいです。